

2016年1月21日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

全国小企業月次動向調査(2015年12月実績、2016年1月見通し)

[概況] 小企業の売上DIは、マイナス幅が縮小

～1月もマイナス幅が縮小する見通し～

1 売上

2015年12月の売上DIは、11月(▲16.8)からマイナス幅が12.0ポイント縮小し、▲4.8となった。2016年1月は、▲3.0とマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業(▲16.7→▲9.6)、非製造業(▲15.8→▲4.4)ともにマイナス幅が縮小している。

2 採算

2015年12月の採算DIは、11月(1.9)から9.6ポイント上昇し、11.5となった。2016年1月は、12.8とさらに上昇する見通しとなっている。

3 価格

2015年12月の販売価格DIは、11月(2.6)からほぼ横ばいの2.5となった。仕入価格DIは、11月(15.7)から3.3ポイント低下し、12.4となった。

＜調査の要領＞	調査時点	2016年1月5日～7日
	調査対象	当公庫取引先 1,500企業(調査対象の企業規模は裏面のとおり)
	有効回答企業数	1,082企業
	回答率	72.1%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:木川、清野)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

調査対象の企業規模

製造業（従業者 20 人未満）

卸売業（同 10 人未満）

小売業（同 10 人未満）

飲食店（同 10 人未満）

サービス業（同 20 人未満）

建設業（同 20 人未満）

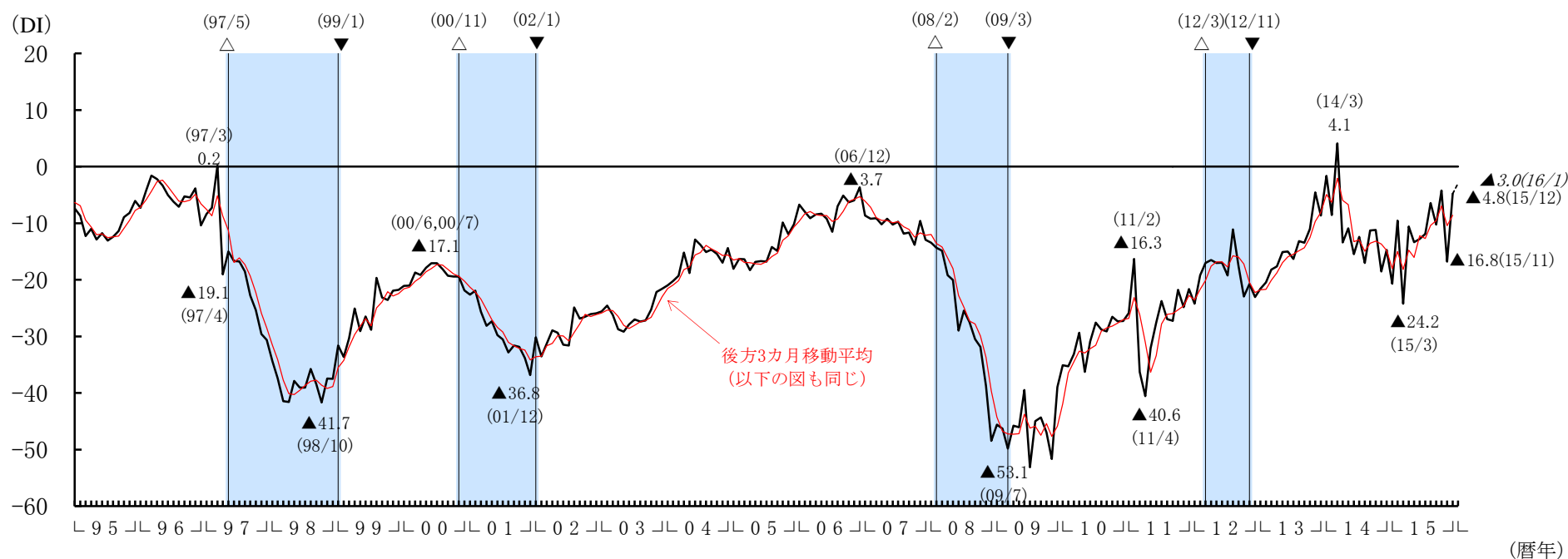
運輸業（同 20 人未満）

1 売上

- 12月の売上DIは、11月からマイナス幅が12.0ポイント縮小し、▲4.8となった。1月は、▲3.0とマイナス幅がさらに縮小する見通しとなっている。
- 業種別にみると、製造業(▲16.7→▲9.6)、非製造業(▲15.8→▲4.4)ともにマイナス幅が縮小している。1月は、製造業では▲6.5、非製造業では▲2.4と、ともにマイナス幅が縮小する見通しとなっている。
- 非製造業では、建設業を除く全ての業種で上昇している。1月は、卸売業と運輸業を除く全ての業種で上昇する見通しとなっている。

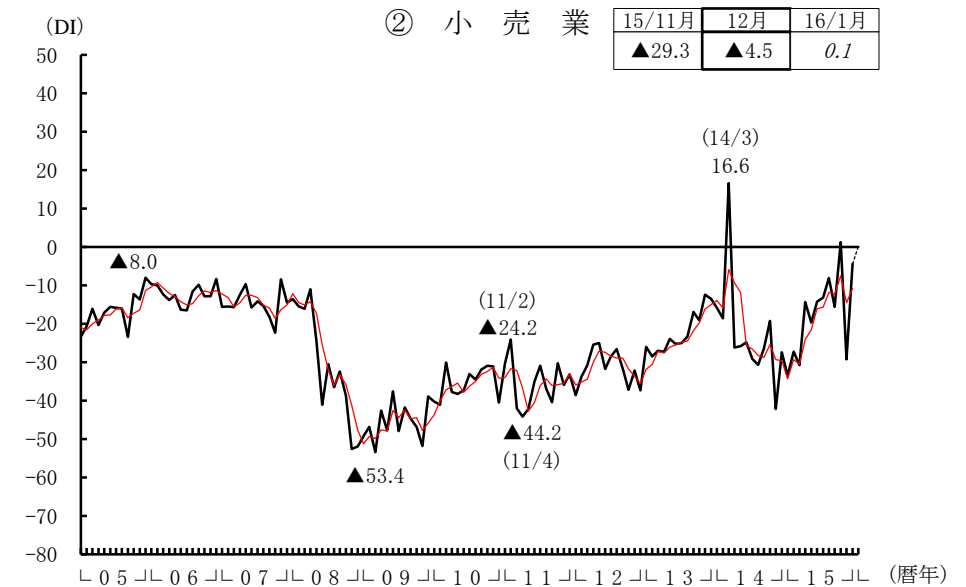
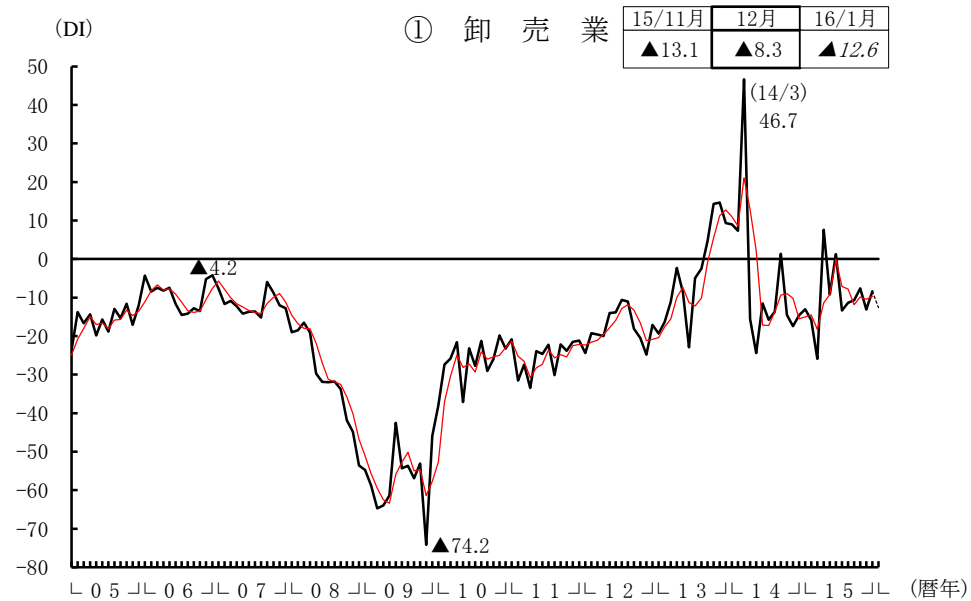
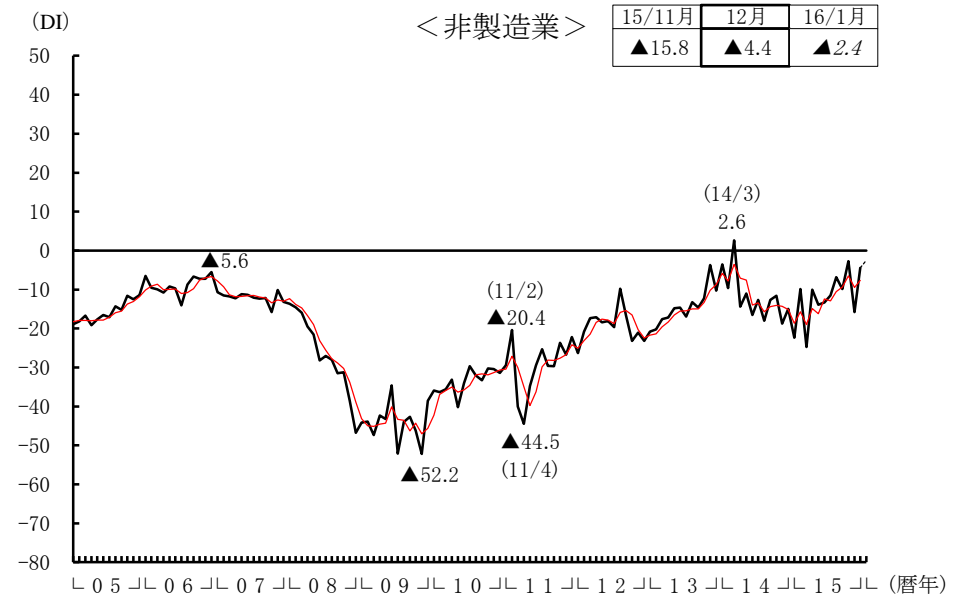
図－1 売上DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2014/12月	2015/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016/1月
実績	▲14.7	▲20.7	▲9.5	▲24.2	▲10.6	▲13.4	▲12.8	▲11.9	▲6.4	▲10.3	▲4.2	▲16.8	▲4.8	-
見通し	▲14.1	▲12.6	▲16.6	▲17.2	▲11.1	▲5.5	▲9.8	▲7.4	▲10.2	▲8.9	▲5.8	▲5.3	▲4.6	▲3.0



(注) 1 DIは前年同月比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示す。△は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－２ 業種別売上DIの推移（季節調整値）



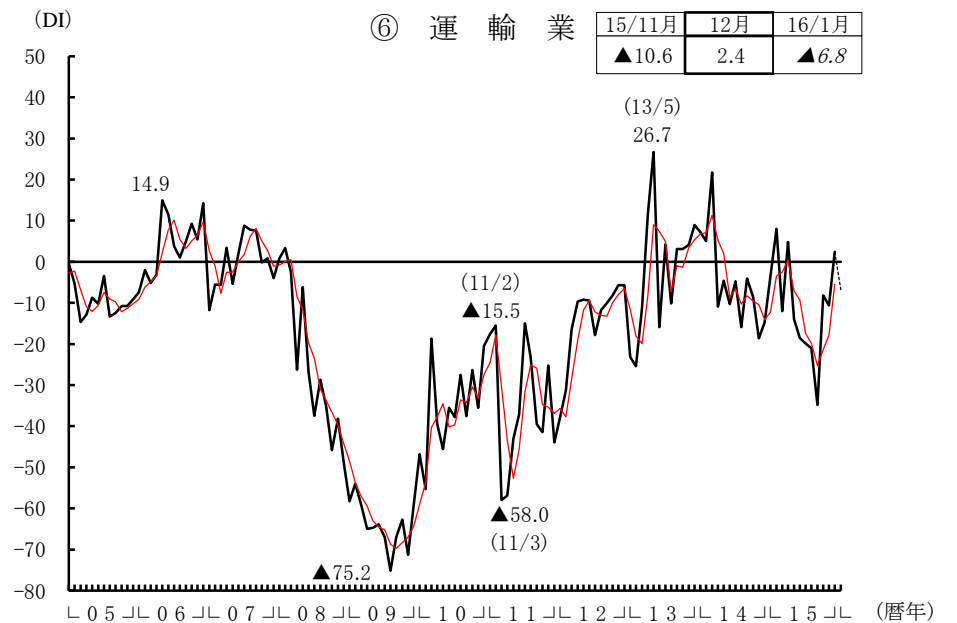
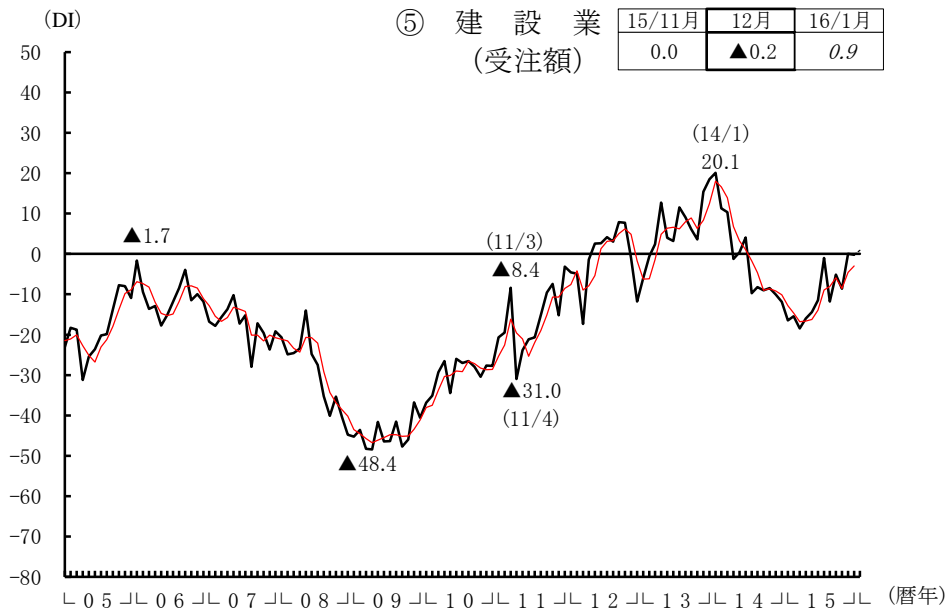
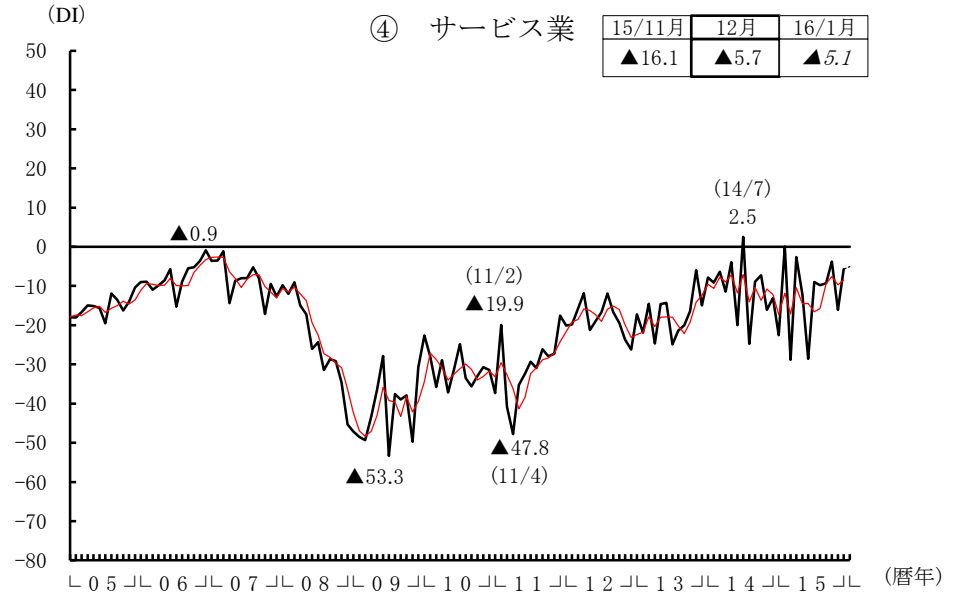
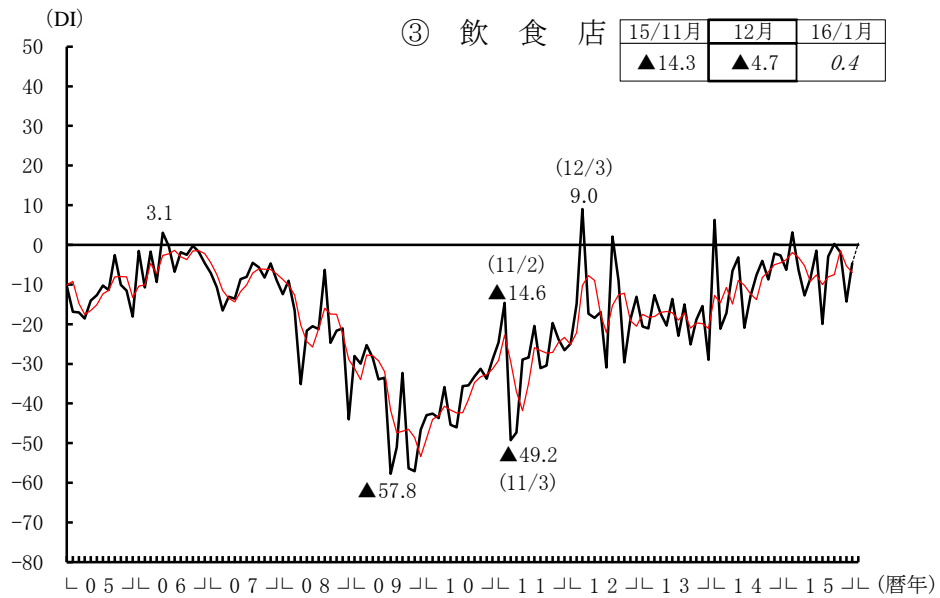


表 業種別売上DIの推移（季節調整値）

(見通し)

	2014年 8月	9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016年 1月	
製造業	▲ 9.8	▲ 2.5	▲ 9.2	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 11.7	▲ 7.8	▲ 19.8	▲ 15.2	▲ 12.3	▲ 10.1	▲ 13.3	▲ 3.6	▲ 13.7	▲ 15.8	▲ 16.7	▲ 9.6	▲ 6.5	製造業
金属・機械	▲ 6.8	9.8	2.0	▲ 5.1	0.1	▲ 2.7	▲ 1.7	▲ 15.9	▲ 11.2	▲ 17.5	▲ 19.2	▲ 18.7	▲ 4.9	▲ 18.9	▲ 19.4	▲ 19.4	▲ 5.3	▲ 4.2	金属・機械
その他製造	▲ 11.9	▲ 13.1	▲ 17.6	▲ 21.5	▲ 23.8	▲ 21.8	▲ 13.8	▲ 22.8	▲ 16.5	▲ 7.5	▲ 0.3	▲ 7.0	▲ 2.0	▲ 9.6	▲ 11.7	▲ 21.5	▲ 10.0	▲ 8.1	その他製造
非製造業	▲ 18.0	▲ 12.6	▲ 11.6	▲ 18.8	▲ 14.9	▲ 22.4	▲ 9.9	▲ 24.7	▲ 10.0	▲ 13.9	▲ 13.3	▲ 11.5	▲ 6.8	▲ 9.8	▲ 2.7	▲ 15.8	▲ 4.4	▲ 2.4	非製造業
①卸売業	▲ 13.7	1.3	▲ 14.5	▲ 17.5	▲ 14.6	▲ 13.0	▲ 15.8	▲ 25.9	7.6	▲ 9.2	1.3	▲ 13.4	▲ 11.4	▲ 10.7	▲ 7.6	▲ 13.1	▲ 8.3	▲ 12.6	①卸売業
繊維・衣・食	▲ 19.1	4.6	▲ 20.0	▲ 34.5	13.0	▲ 19.4	▲ 3.6	▲ 34.4	2.1	▲ 8.2	8.7	▲ 9.1	▲ 18.7	▲ 11.7	0.6	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 0.8	繊維・衣・食
機械・建材	▲ 9.0	▲ 2.5	▲ 10.8	▲ 10.6	▲ 26.7	▲ 5.8	▲ 24.4	▲ 26.4	8.7	▲ 8.7	▲ 2.6	▲ 14.9	▲ 5.2	▲ 12.2	▲ 12.9	▲ 19.1	▲ 0.8	▲ 20.0	機械・建材
②小売業	▲ 30.7	▲ 26.5	▲ 19.3	▲ 42.2	▲ 27.4	▲ 33.5	▲ 27.3	▲ 30.8	▲ 14.4	▲ 19.7	▲ 14.2	▲ 13.2	▲ 8.1	▲ 15.6	1.2	▲ 29.3	▲ 4.5	0.1	②小売業
耐久消費財	▲ 27.9	▲ 21.6	▲ 26.5	▲ 44.6	▲ 36.9	▲ 33.7	▲ 29.0	▲ 41.1	▲ 30.3	▲ 17.6	▲ 28.1	2.0	2.5	▲ 7.7	1.2	▲ 20.4	▲ 1.2	▲ 12.9	耐久消費財
非耐久消費財	▲ 31.1	▲ 27.6	▲ 16.1	▲ 40.3	▲ 25.1	▲ 33.4	▲ 28.0	▲ 29.3	▲ 12.3	▲ 21.0	▲ 11.2	▲ 15.5	▲ 10.0	▲ 17.4	2.8	▲ 29.5	▲ 5.2	3.2	非耐久消費財
③飲食店	▲ 7.6	▲ 4.1	▲ 8.7	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 6.3	3.1	▲ 6.2	▲ 12.8	▲ 8.6	▲ 1.5	▲ 20.0	▲ 2.9	0.3	▲ 1.9	▲ 14.3	▲ 4.7	0.4	③飲食店
④サービス業	▲ 24.7	▲ 8.9	▲ 7.3	▲ 16.1	▲ 13.1	▲ 22.6	0.1	▲ 28.8	▲ 2.7	▲ 12.2	▲ 28.6	▲ 9.0	▲ 9.8	▲ 9.3	▲ 3.7	▲ 16.1	▲ 5.7	▲ 5.1	④サービス業
事業所向け	▲ 4.9	0.3	▲ 0.5	▲ 10.2	▲ 12.7	▲ 20.6	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 17.4	▲ 12.9	▲ 5.1	▲ 13.7	▲ 2.4	▲ 15.7	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 7.7	6.5	事業所向け
個人向け	▲ 30.5	▲ 12.0	▲ 9.6	▲ 20.1	▲ 13.1	▲ 22.8	7.0	▲ 32.6	2.7	▲ 12.5	▲ 30.2	▲ 11.0	▲ 11.6	▲ 7.6	1.8	▲ 17.7	▲ 4.9	▲ 8.5	個人向け
⑤建設業	▲ 8.2	▲ 9.0	▲ 8.5	▲ 10.0	▲ 11.9	▲ 16.5	▲ 15.4	▲ 18.4	▲ 16.0	▲ 14.4	▲ 11.5	▲ 1.0	▲ 11.8	▲ 5.1	▲ 8.7	0.0	▲ 0.2	0.9	⑤建設業
⑥運輸業	▲ 15.9	▲ 4.1	▲ 8.6	▲ 18.6	▲ 14.8	▲ 3.6	8.0	▲ 12.0	4.8	▲ 14.0	▲ 18.5	▲ 19.8	▲ 21.1	▲ 34.9	▲ 8.2	▲ 10.6	2.4	▲ 6.8	⑥運輸業
道路貨物	▲ 16.7	▲ 5.9	▲ 8.1	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 5.4	▲ 1.1	▲ 10.6	0.0	▲ 19.0	▲ 24.1	▲ 21.8	▲ 33.3	▲ 41.6	▲ 11.1	▲ 12.0	1.7	▲ 10.6	道路貨物
個人タクシー	▲ 15.1	8.4	▲ 9.2	▲ 42.0	▲ 16.1	4.9	20.4	▲ 0.8	21.3	4.7	3.6	▲ 7.0	23.9	▲ 2.8	3.9	▲ 9.4	7.9	▲ 0.8	個人タクシー
全業種計	▲ 17.0	▲ 11.3	▲ 11.2	▲ 18.6	▲ 14.7	▲ 20.7	▲ 9.5	▲ 24.2	▲ 10.6	▲ 13.4	▲ 12.8	▲ 11.9	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 4.2	▲ 16.8	▲ 4.8	▲ 3.0	全業種計

(注) 1 網掛けは、前月から低下した数値。

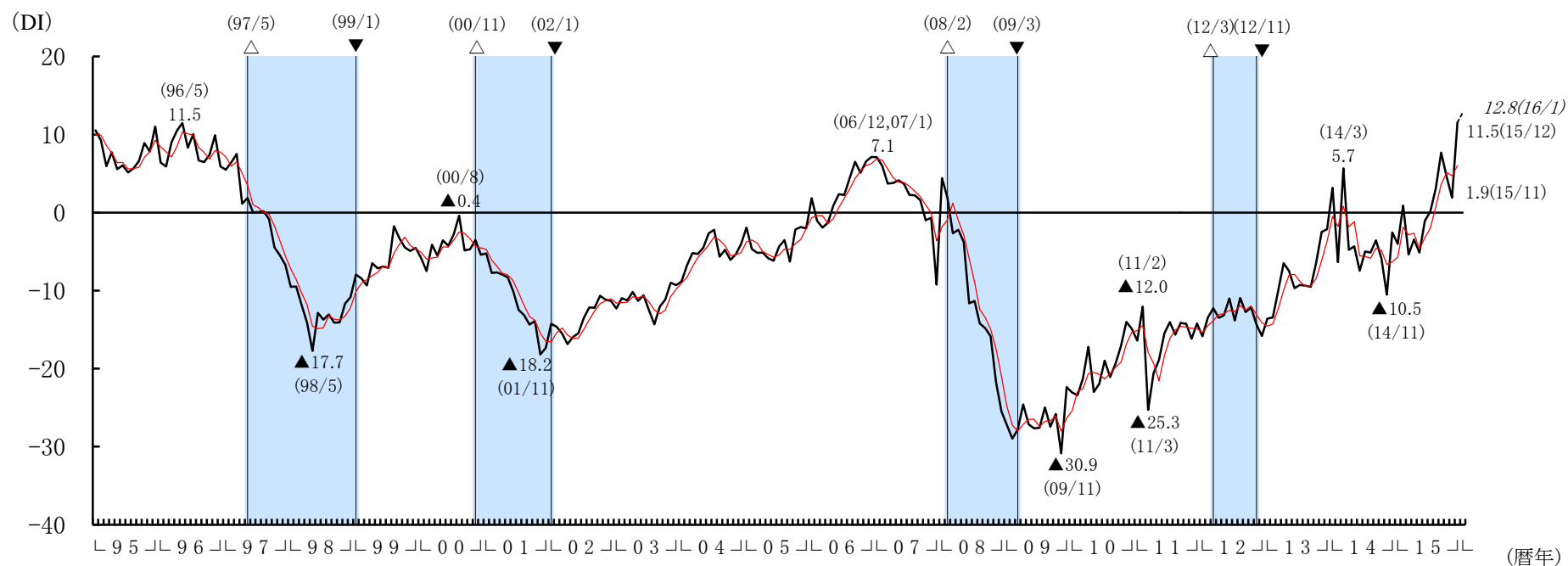
2 季節調整は業種ごとに行っている。

2 採算

- 12月の採算DIは、11月から9.6ポイント上昇し、11.5となった。
- 1月の採算DIは、12.8とさらに上昇する見通しとなっている。

図－3 採算DIの推移（全業種計、季節調整値）

	2014/12月	2015/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2016/1月
実績	▲ 2.6	▲ 4.0	0.9	▲ 5.4	▲ 3.5	▲ 5.1	▲ 1.1	0.1	3.1	7.7	4.6	1.9	11.5	-
見通し	0.4	▲ 1.5	0.2	0.1	2.4	▲ 0.1	3.6	7.8	▲ 1.6	6.4	8.5	1.7	10.3	12.8

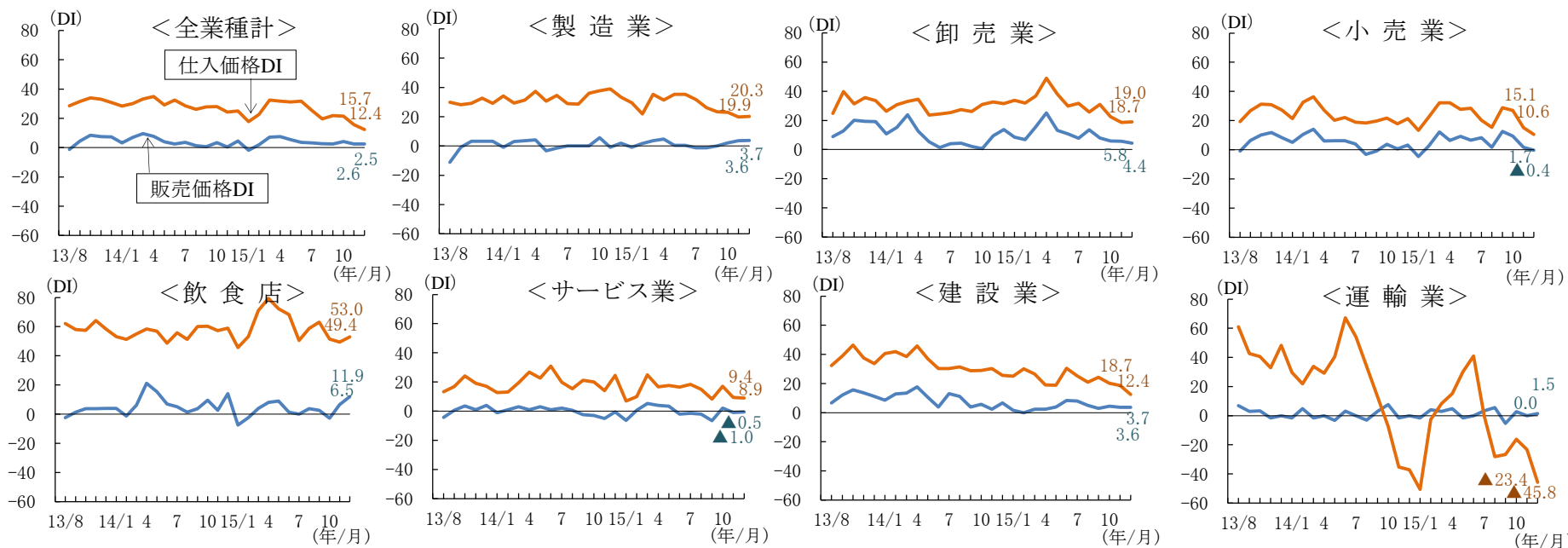


(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

3 価格

- 12月の販売価格DIは、11月からほぼ横ばいの2.5となった。業種別にみると、卸売業と小売業で低下している。
- 12月の仕入価格DIは、11月から3.3ポイント低下し、12.4となった。業種別にみると、製造業、卸売業、飲食店を除く全ての業種で低下している。

図-4 価格DIの推移



(注) 価格DIは、前月比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合。

<販売価格・仕入価格に関するコメント>

- ・燃料代が低下している影響は大きい。今後、原油価格の低下を反映して樹脂などの価格が低下してくれれば、非常に助かる。(配電盤装置製造業)
- ・暖冬で青果物の発育が良く、生鮮食品の仕入価格が低下している。安く商品を提供できるため、販売量が伸びている。(食品スーパー)
- ・最近はやや落ち着いてきたものの、原材料費は高止まっている。昨年、商品ごとの採算管理を実施し、販売価格の引き上げに踏みきった。惣菜やおせちなどを5%程引き上げたが、客離れは特に起こっていない。(弁当製造小売業)

- ・建材については、以前値上がりしたままで仕入先が値下げに応じしてくれない。そこで、一部を新しい仕入先に変更して安い価格で購入できるようにした。(建具工事業)
- ・昨年の4月に人件費を反映したかたちで販売価格の引き上げを行った。人件費は高止まりしているものの、最近の燃料価格低下で、採算が改善しており、恩恵を受けている。(道路貨物運送業)